

自給農耕ゼミ（小金井）第1回開催のお知らせ

市民農園や都市農業をもっと広げたい、小金井でエディブル・ウェイ（食べられる道）を作ってみよう、エコミュージアムなまちづくり、雑穀についてもっと知りたい、『人新世』とは何か、などなど、家族農耕 farming を語りあう会を始めます。学習会や栽培実践、読書会などを通し、共に学び合う場を共有しましょう。お気軽にご参加ください。

○日時：9月18日（土）14：00～16：00 隔月で開催予定。

○場所：小金井市中町カエルハウスおよびオンライン（zoom）（定員：会場15名、オンライン20名）

○参加方法：参加希望の方は、042-316-1511（カエルハウス運営委員会）

または office@katayamakaoru.net

会場参加費は300円（お茶、資料代）。

○協催：カエルハウス運営委員会、NPO自然文化誌研究会（植物と人々の博物館／雑穀街道普及会）。

*資料に関する質問は木俣美樹男（略歴）まで。 kibi20kijin@yahoo.co.jp

*このゼミの資料や概要は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学び合う環境学習市民連合大学のサイトで一般公開します。

<http://www.milletimplic.net/university/civicuues.html>

*推薦図書：中尾佐助 1966、栽培植物と農耕の起源、岩波書店、880円。

○プログラム：

話題提供：農耕と農業の始まりと農耕文化基本複合、市民農園と家庭菜園（30分）。

座談：（90分）。

+2021.7.9

連続的・統合的な生物文化多様性の蓄積と現代的衰退
複雑／画一、虚無・便利(The nothing / The convenience)の超克

